

2023年度事業報告書

2023年4月1日～2024年3月31日まで

特定非営利活動法人アニマルライツセンター

1 事業の成果 及び 事業の実施に関する事項

事業の成果

- ・ 国内のケージフリーの羽数の割合が不明のままでしたが、ようやく調査を実施。(結果は1.11%(発表時))。
- ・ 国内屠殺場の飲水設備設置割合を調査(牛の屠畜場38%、豚の屠畜場72%に飲水設備なし)。
- ・ 糸満ハーレーのアヒル取り競争についてのメディア戦略に成功し、多くの議論を巻き起こした。
- ・ 若い世代向けのアパレルメーカー、ハニーズ ホールディングスと、ZIN KATOが、ウールを除いてアニマルフリーになった。
- ・ 魚のアニマルウェルフェアについて新聞、テレビで取り上げられた。
- ・ 生産者や地域の生協やお店への働きかけ、そして多くの人々の声により、北海道のマザーズが鶏舎をケージフリーに切り替え4万羽の鶏がケージから解放された。
- ・ 16の機関投資家、34の銀行・信用金庫と話し合いを行い、9割以上がアニマルウェルフェアの情報を積極的にビジネスに活かすことを示唆。結果をレポート「ESG投資とアニマルウェルフェア」にまとめた。
- ・ 朝日新聞でのアニマルウェルフェア特集で、初めてベターチキン(肉用鶏のよりマシなチキンの規格)が取り上げられた。
- ・ 採卵鶏のオスひよこについての農林水産委員会での質問後、卵内雌雄鑑別法への助成、5億円にアップ。
- ・ 味の素、イオンがオリジナルブランドの平飼い卵マヨネーズを販売し、ケージフリーに向けた取り組みを行った。
- ・ 丸大食品がアニマルウェルフェアのポリシーを発表し、大手ハム会社5社がすべてが妊娠ストールフリーにむかっていることが確定した。

事業の実施状況

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	期間	事業場所	従事人数	受益対象者
1:野生動物の保護に関する事業					
調査・啓発・要望	・ 茨城県れんこん田の防鳥ネットに野鳥が引っかかり死亡していることについて、調査をおこなった ・ 茨城県、土浦市、かすみがうら市への要望を行った	通期	茨城県	2人	野生動物保護に関心のある人々
2:アニマルライツ・アニマルウェルフェアに関する事業					
2-1:動物問題全般に関わる事業					
行政に対する取り組み	・ 動物愛護法改正の要望事項をまとめ、ロビー活動を行った ・ 超党派の犬猫の殺処分ゼロを目指す議員連盟の中の動物愛護法改正プロジェクトチームでのアドバイザーとして会議に出席し、またヒアリングでの発表を行った				
啓発	・ 東京都、滋賀県、兵庫県、岩手県、千葉県、神奈川県、香川県での街頭アクションを行った。 ・ 畜産動物、展示動物等について、各種新聞、テレビ、雑誌等に寄稿、取材への対応を行った ・ 公式サイト、メールニュース(1868名が参加)、SNS(Facebook Twitter Instagram、youtube)の更新、情報発信を行った ・ ARCニュース(会報)を年3回発行した ・ アニマルライツに関するチラシ、毛皮反対に関するチラシ、フォアグラ反対に関するチラシ、畜産動物の現状に関するチラシ、環境と健康と畜産問題に関するチラシ、牛乳の現状に関するチラシ、採卵鶏のケージフリーに関するチラシの配布を行った ・ ボランティアのプロジェクトチーム「ボス部」を発足、毎月全国同時で各ボランティアのいる場所でのポスティングを開始	通期	東京都、岩手、愛知、兵庫、名古屋、埼玉	20人	動物の問題、現状を知らない人約50万人

	・ ボランティアのプロジェクトチーム「アクティ部」を開始し、全国でアクションをはじめたい人への支援を開始				
人材育成に関する取り組み	・ ウェビナーを含んだアニマルライツチャンネルを12回行った	通期	全国	6人	動物問題、持続可能性に関心のある人
持続可能性・消費者倫理に関する取り組み	・ 「消費から持続可能な社会を作る市民ネットワーク」で、企業のエシカル度を調査する企業のエシカル通信簿の調査を行い、またサイトでの見え方の工夫を行った。また当ネットワークが主催してエシカル通信簿の発表会を行った ・ 日本エシカル推進協議会に理事団体および副会長として参加し、農林水産省、経済産業省、東京都への陳情を行い、またエシカル基準のテキスト作成を行った。またエシカルアカデミーやサロンにて、畜産動物のアニマルウェルフェアについての講義を行った	通期	東京	2人	動物問題、エシカル消費、環境問題等に関心のある人
問い合わせ対応	・ 問い合わせに対応(年間およそ200件)	通期	東京	4人	200人
2-2:パートナー動物に関する事業					
行政への取り組み	・ パートナー団体とともにすべての動物に関する適正な飼養管理の基準に関して要望をまとめた ・ 哺乳類と爬虫類に関する飼養基準について環境省に要望活動を行った	通期	東京	1人	国会議員、環境省、動物問題に関心のある人、神奈川県民
啓発	・ ペット動物に関してSNSでの発信や対談を行った	通年	東京	3人	動物の現状を知らない約1万人
2-3:畜産と環境に関する事業					
啓発	・ 動物の未来イニシアチブで、6回の連続講座”ファームアニマルウェルフェア講座”を行い2023年春(3~4月)は48名が、2023冬(12~翌1月)は46名が受講した ・ 講演会での講師を努め、アニマルウェルフェアやアニマルライツについての知識の普及を行った。 ・ エコプロ、アースデイに参加し環境と畜産についての啓発を行った ・ 畜産動物の現状を伝える専用サイトとSNSでの情報発信、動画の編集 ・ WEBマガジン、雑誌に畜産動物の現状について寄稿した ・ メディアに畜産動物の現状について情報提供を行なった ・ SNSでの広告配信を行なった ・ SNSやYoutubeでの広告の掲示 ・ Hope For Animals.orgにて畜産動物の現状や畜産を取り巻く環境や人権問題を発信した ・ 参画しているAquatic Animal Alliance(水生動物連盟)で、水棲動物の福祉についての意見提言 ・ 成鶏の保護とともにその心身の状態の発信を行った ・ 2ヶ月に一度、対面での勉強会と会議を行う「動物の未来BASE」を開始。対面での勉強会を3回行った ・ 廃業する養豚場からの豚の保護を行うため、準備を開始した	通年	東京	5人	動物の問題、現状を知らない人約55万人
行政に向けた取り組み	・ 国会議員に対して、畜産動物のアニマルウェルフェアの取り組みと畜産動物のための動物愛護法改正を要望するためのロビー活動を行った	通年	東京	3人	不特定多数

	- 農林水産省、厚生労働省、環境省に対し、畜産動物のアニマルウェルフェアと屠殺場の飲水設備についての要望を話し合いを行った - 超党派のアニマルウェルフェアを考える議員連盟での発表を行った				
調査	- 屠殺場の飲水設備の設置状況についてのアンケート及び電話調査を行った - ケージフリーで飼育される採卵鶏の羽数について、電話調査を行った - 孵化場のアニマルウェルフェア(殺処分方法と雌雄鑑別方法)についてのアンケート調査を行った - 複数の畜産施設及びと畜場に関する調査を行い、情報を公開した - 畜産動物の飼育環境についての認知度調査を行い公開した - アニマルウェルフェアの研究や情報を翻訳ボランティアメンバーで翻訳した - 食鳥処理場で生きたまま熱湯につけられる鶏の状況について調査 - アニマルウェルフェアやアニマルライツ、食糧システムの変化に関連する海外の文献、基準等の日本語訳の充実を行うため、ボランティアのプロジェクトチーム「ファクト部」が始動し、「動物の未来FACT」として論文要約を掲載する仕組みを構築した - 企業のアニマルウェルフェアの公開情報の調査を行った - アニマルウェルフェアの技術的な情報の収集を行った - 鳥インフルエンザの経費についての情報公開請求を行った	通年	東京・大阪	90人	不特定多数
企業に向けた取り組み	- 妊娠ストール廃止、ケージ飼育廃止、ベターチキンへの移行を含むアニマルウェルフェアの向上、及びアニマルウェルフェアポリシーの策定、畜産物の削減を求め、1000社以上へのコンタクトと、217社の企業と話し合いを行った 5社でアニマルウェルフェアについての社内研修を行った - 月に2回ボランティア会議をオンライン開催し、ボランティアメンバーとともに企業への意見を届ける活動を行った - 魚と甲殻類のアニマルウェルフェアについて要望を開始、企業交渉に魚と甲殻類のアニマルウェルフェアを本格的に取り入れた - 動物性タンパク質から植物性タンパク質への移行、および植物性タンパク質への取り組みの開始を要望 - 企業にケージフリー卵への切り替えを促す国際連合Open Wing Allianceに参加 - ボランティアのプロジェクトチーム「企業への意見届け隊」を始動。	通年	東京	20人	不特定多数
2-4:衣類等の素材になる動物に関する事業					
啓発	- 毛皮の専用サイトやSNSでの情報発信 - 動画の編集と公開 - 毛皮反対のためのポスターの配布した	通年	東京	10人	毛皮の問題、ファッションに関心を持つ人約40万人
企業に対する取り組み	- アパレル企業にリアルファーの取扱廃止を求める要望を行なった - アニマルフリーへの取り組みに関するアンケート調査を行った - ファーフリー、アニマルフリーに関する企業交渉を行った - 経済産業省を通し、熊野筆のアニマルウェルフェアについての提言を行った	通年	東京	2人	毛皮や衣類、ファッションに関心を持つ人
国際協力	FUR FREE ALLIANCEメンバーとして、日本の毛皮消費状況等について海外に向けて情報発信を行った、またマックスマウラのファー使用に反対するキャンペーンを行った	通年	東京	1人	毛皮動物の問題に関心を持つ世界中の人
2-5:実験に利用される動物に関する事業					

啓発	- 動物実験に関するSNS上での発信を行った - 化粧品、食品の動物実験についての情報収集を行った - 化粧品、食品の動物実験についての意識調査を行った - 機関投資家向けに化粧品、食品の動物実験についての講義を行った	通年	東京	1人	不特定多数
2-6:展示動物に関する事業					
啓発	- ウェブサイトとSNSでの情報発信 - 闘鶏を廃止するための情報発信を行った	通期	全国	2人	動物の問題、現状を知らない人
行政・企業等に対する取り組み	- 糸満ハーレーのアヒル取り競争について調査を行い、虐待的な行為を告発した - 昭島市の動物公園についての継続調査を行った - ヤギが賞品として扱われる事例に対する抗議を行った - 上げ馬神事について三重県知事への陳情、および三重県、多度大社への提案を行った	通期	全国	2人	動物の問題、現状を知らない人
3: 菜食と健康に関する事業					
啓発	- ヴィーガン、ベジタリアンのライフスタイルについての情報サイトHachidoryの運用を行った - ヴィーガンレシピの開発を行った	通期	全国	15人	エシカル消費やヴィーガンに興味のある10万人
4: 目的を達成するための広報事業 : 報告は2に含みます					

(2) その他の事業

事業名	事業内容	期間	事業場所	従事者人数	受益対象者
物品販売事業	動物問題を啓発することを目的とした本とアピールグッズの販売を行なった	通期	東京	3人	動物問題に関心のある人々

活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

2024年 3月31日

	非営利事業	収益事業	計
【経常収益】			
【受取会費】			
一般会員 (賛助) 受取会費	1,584,000		
一般会員 (正) 受取会費	1,080,000		
ライト会員受取会費	630,180		
サポート会員 (賛助) 受取会費	1,020,000		
サポート会員 (正) 受取会費	324,000		
学生会員 (賛助) 受取会費	18,000		4,656,180
【受取寄付金】			
受取寄付金	18,401,851		18,401,851
受取寄付金・豚	1,001,300		1,001,300
【受取助成金等】			
受取助成金	95,279		95,279
【事業収益】			
事業 収益		178,634	
講師料・原稿料	1,151,388		1,330,022
【その他収益】			
受取 利息	720		
受取手数料	561,810		
為替 差益	23,773		586,303
経常収益 計	25,892,301	178,634	26,070,935
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
給料 手当(事業)	14,325,766	2,075	
役員報酬 (事業)	2,845,550	23,433	
法定福利費(事業)	2,725,215	8,627	
福利厚生費(事業)	5,071	53	
人件費計	19,901,602	34,188	19,935,790
(その他経費)			
広告・宣伝費 (事業)	566,186		
印刷製本費(事業)	701,722		
動物医療費保護費	199,644		
会 議 費(事業)	97,047		
会場費(事業)	72,011		
旅費交通費(事業)	1,221,146		
調査費 (事業)	275,057		
車 両 費(事業)	249,756		
通信運搬費(事業)	772,233	109,085	
新聞図書費 (事業)	7,159		
消耗品費(事業)	180,304	21	
備品 (事業)	109,997		
IT関連費(事業)	838,358	6,013	
水道光熱費(事業)	34,413	363	
地代 家賃(事業)	1,243,068	12,948	
減価償却費(事業)	43,240	452	
諸 会 費(事業)	316,657		
租税 公課(事業)	6,271	9	
支払手数料(事業)	173,220	11,256	
外 注 費(事業)	214,170	582	
その他経費計	7,321,692	140,729	7,462,421
事業費 計	27,223,294	174,917	27,398,211
【管理費】			
(人件費)			
給料 手当(管理)	1,002,230		
役員報酬 (管理)	70,317		

活動計算書

[税込] (単位: 円)

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

2024年 3月31日

法定福利費(管理)	25,855	
福利厚生費(管理)	8,828	
人件費計	1,107,230	
(その他経費)		
印刷製本費(管理)	20	
旅費交通費(管理)	26,100	
通信運搬費(管理)	16,707	
消耗品費(管理)	11,298	
IT関連費(管理)	82,669	
水道光熱費(管理)	1,076	
地代 家賃(管理)	38,844	
減価償却費(管理)	1,351	
租税 公課(管理)	26	
支払手数料(管理)	17,191	
外 注 費(管理)	1,748	
その他経費計	197,030	
	1,304,260	
管理費 計		1,304,260
経常費用 計		28,702,471
当期経常増減額		△ 2,631,536
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 2,631,536
法人税、住民税及び事業税		70,000
経理区分振替額	3,717	△ 3,717
当期正味財産増減額		△ 2,701,536
前期繰越正味財産額		107,486,945
次期繰越正味財産額		104,785,409

貸借対照表

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター
全事業所

[税込] (単位: 円)

2024年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	1,280,616
現 金	494,501	預 り 金	153,108
PAYPAL円	495,526	未払法人税等	70,000
ゆうちょ・総合口座	15,167,400	流動負債 計	1,503,724
PAYPALドル	91,577	負債合計	1,503,724
ゆうちょ・	42,598,255	正 味 財 産 の 部	
ゆうちょ・	917,319	【正味財産】	
ゆうちょ・	1,262,126	前期繰越正味財産額	107,486,945
三菱東京UFJ銀行	40,077,902	当期正味財産増減額	△ 2,701,536
現金・預金 計	101,104,606	正味財産 計	104,785,409
(棚卸資産)		正味財産合計	104,785,409
貯 蔵 品	392,462		
棚卸資産 計	392,462		
(その他流動資産)			
前 払 金	4,538,500		
その他流動資産 計	4,538,500		
流動資産合計	106,035,568		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
什器 備品	67,565		
有形固定資産 計	67,565		
(投資その他の資産)			
敷 金	186,000		
投資その他の資産 計	186,000		
固定資産合計	253,565		
資産合計	106,289,133	負債及び正味財産合計	106,289,133

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

2024年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

- (1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入れ原価法
- (2). 固定資産の減価償却の方法
固定資産はありません
- (3). 引当金の計上基準
引当金は計上していません。
- (4). 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
該当ありません。
- (5). ボランティアによる役務の提供
財務諸表に計上していません。
- (6). 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込み方式によっています。

【会計方針の変更】

ありません。

【事業費の内訳】

事業費の区分は別紙の通りです。
部門件数が1ページ内の最大を超えました。明細は別紙に出力します。

【施設の提供等の物的サービスの受入の内訳】

該当ありません。

△] (単位: 円)

内容	金額	算定方法

【活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳】

△] (単位: 円)

内容	金額	算定方法

【使途等が制約された寄付等の内訳】

△] (単位: 円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
豚の保護施設のため	0	1,001,300		1,001,300	
合計					

【固定資産の増減内訳】

△] (単位: 円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
什器備品	14,760			14,760	73,195	67565
合計	14,760			14,760	73,195	67565

【借入金の増減内訳】

△] (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
合計				0

【役員及びその近親者との取引の内容】

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

△] (単位：円)

科目	表に計上され、役員との取	及び支配法人
(活動計算書)		
活動計算書計		

【その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項】

- ・ 事業費と管理費の按分方法

共通経費を事業費と管理費に按分

事業実態に合わせ、事業費（1:0% 2:87% 3:8% 4:0% その他事業：1%） 管理費：3%とする

事業費の内訳（別紙）

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

2024年 3月31日 現在

(1/3)

△] (単位: 円)

科目	管理費	動物全般	パートナー動物	菜食と健康	畜産と環境
(人件費)					
給料 手当(事業)	6,230	8,306	2,077	9,345	14,281,118
役員報酬(事業)	70,317	93,756	23,439	105,477	2,341,607
法定福利費(事業)	25,855	34,480	8,614	6,338	2,572,364
福利厚生費(事業)	158	211	53	238	3,935
人件費計	102,560	136,753	34,183	121,398	19,199,024
(その他経費)					
広告・宣伝費(事業)				37,166	529,020
印刷製本費(事業)		127,490			574,232
動物医療費保護費					79,644
会議費(事業)		20,796			76,251
会場費(事業)					72,011
旅費交通費(事業)	5,910	100,399	2,490		1,107,757
調査費(事業)					250,857
車両費(事業)					249,756
通信運搬費(事業)	2,537	433,992	845	3,806	323,440
新聞図書費(事業)					7,159
消耗品費(事業)	8,861	9,997	20	20,093	149,946
備品(事業)					109,997
IT関連費(事業)	44,169	25,790	6,010	27,047	707,389
水道光熱費(事業)	1,076	1,434	358	1,614	26,733
地代家賃(事業)	38,844	51,792	12,948	58,272	964,668
減価償却費(事業)	1,351	1,802	450	2,027	33,557
諸会費(事業)		10,000			
租税公課(事業)	26	28	7	31	6,125
支払手数料(事業)	16,091	19,915	8,047	16,091	78,792
外注費(事業)	1,748	2,330	583	2,621	201,646
その他経費計	120,613	805,765	31,758	168,768	5,548,980
合計	223,173	942,518	65,941	290,166	24,748,004

(2/3)

△] (単位: 円)

科目	ファッション	実験動物	展示動物	野生動物	物品販売
(人件費)					
給料 手当(事業)	16,613	2,077	5,192	1,038	2,075
役員報酬(事業)	187,512	23,439	58,599	11,721	23,433
法定福利費(事業)	68,951	8,614	21,547	4,307	8,627
福利厚生費(事業)	423	53	132	26	53
人件費計	273,499	34,183	85,470	17,092	34,188
(その他経費)					
広告・宣伝費(事業)					
印刷製本費(事業)			120,000		
動物医療費保護費					
会議費(事業)					
会場費(事業)					
旅費交通費(事業)			10,500		
調査費(事業)		24,200			
車両費(事業)					
通信運搬費(事業)	6,767	845	2,114	424	109,085
新聞図書費(事業)					
消耗品費(事業)	165	20	52	11	21
備品(事業)					
IT関連費(事業)	48,082	6,010	15,026	3,004	6,013
水道光熱費(事業)	2,871	358	896	179	363
地代家賃(事業)	103,584	12,948	32,376	6,480	12,948
減価償却費(事業)	3,603	450	1,126	225	452
諸会費(事業)	306,657				
租税公課(事業)	56	7	17	3	9
支払手数料(事業)	28,961	4,993	16,421		11,256
外注費(事業)	4,660	583	1,456	291	582
その他経費計	505,406	50,414	199,984	10,617	140,729
合計	778,905	84,597	285,454	27,709	174,917

財 産 目 録

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター
全事業所

[税込] (単位: 円)
2024年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金	494,501
PAYPAL円	495,526
ゆうちょ・総合口座	15,167,400
PAYPALドル	91,577
ゆうちょ・	42,598,255
ゆうちょ・	917,319
ゆうちょ・	1,262,126
三菱東京UFJ銀行	40,077,902

現金・預金 計 101,104,606

(棚卸資産)

貯 蔵 品	392,462
棚卸資産 計	392,462

(その他流動資産)

前 払 金	4,538,500
その他流動資産 計	4,538,500

流動資産合計

106,035,568

【固定資産】

(有形固定資産)

什 器 備 品	67,565
有形固定資産 計	67,565

(投資その他の資産)

敷 金	186,000
投資その他の資産 計	186,000

固定資産合計

253,565

資産の部 合計

106,289,133

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	1,280,616
預 り 金	153,108
雇用保険料	(121,708)
住民税	(△ 15,700)
所得税	(47,100)
未払法人税等	70,000

流動負債 計

1,503,724

負債の部 合計

1,503,724

正味財産

104,785,409

2023年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 アニマルライツセンター

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- ☒以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
☒各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名	（フリガナ）		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 （該当者のみに記入）
		氏名			
1	理事	ヨシダ チヒロ		2023年4月1日	2023年4月1日
		吉田 千尋		～ 2024年3月31日	～ 2024年3月31日
2	理事	コイケ ミホコ		2023年4月1日	年 月 日
		小池 美穂子		～ 2024年3月31日	～ 年 月 日
3	理事	ワタナベ ユカ		2023年4月1日	年 月 日
		渡辺 由香		～ 2024年3月31日	～ 年 月 日
4	理事	ヒラバヤシヨシカネ		2023年4月1日	年 月 日
		平林 芳金		～ 2024年3月31日	～ 年 月 日
5	理事	ヤスノマイコ		2023年4月1日	年 月 日
		安野 舞子		～ 2024年3月31日	～ 年 月 日
6	監事	ナカジマ マリコ		2023年4月1日	年 月 日
		中島 まり子		～ 2024年3月31日	～ 年 月 日
7	理事	イマイズミ ク ニエ		2023年4月1日	年 月 日
		今泉 邦江		～ 2024年3月31日	～ 年 月 日
8	理事・監事			2023年4月1日	年 月 日
				～ 2024年3月31日	～ 年 月 日
9	理事・監事			年 月 日	年 月 日
				～ 年 月 日	～ 年 月 日

社員のうち10人以上の者の名簿

2024年 3月31日 現

	氏名	
1	吉田 千尋	
2	小池 美穂子	
3	高橋 有希	
4	鈴木 萌	
5	今泉 邦江	
6	黒岩三由里	
7	中島 まり子	
8	木村 牧子	
9	藤原 園子	
10	渡邊 由香	